

1 経歴 (1857~1929)

- 1) 胆沢郡塩釜村 (現奥州市水沢区) 胆沢県大参事安場保和に認められ県庁勤務
- 2) 福島洋学校⇒須賀川医学校⇒愛知医学校校長兼病院長 24歳 板垣退助の治療
- 3) 1882 内務省衛生局⇒1890 ドイツ留学 (私費) ⇒1892 内務省衛生局長
- 4) 1893 相馬事件に関連して逮捕
- 5) 1893 台湾總督府民生官 臨時台湾旧慣調査会 新渡戸稲造を殖産局長にアヘン禁止への手法 高率の税、免許制
- 6) 1906 満鉄總裁 調査部
- 7) 1908 から 1911 初代内閣鉄道院總裁、内務大臣、外務大臣、逓信大臣
- 8) 1920.12~1923.4 東京市長 三田三介 (池田宏、永田稲次郎、前田多門、長尾半平)
- 9) 1923.9 内務大臣兼帝都復興院總裁
- 10) 1924 社団法人東京放送局初代總裁
- 11) 1928 日本ボーイスカウト連盟会長 ソ連訪問=スターリンと会見

2 都市についての業績

- 1) 都市調査会 ⇒ 都市計画法
- 2) 東京 8 億円計画 (大風呂敷) ⇒ 挫折
- 3) 東京市政調査会——安田善次郎との交渉 民間団体による本格的都市の調査研究
「都市問題」意識 ⇒ 雑誌「都市問題」の創刊
科学的調査なくして政策なし 財政的基盤
- 4) 自治の精神
- 5) ピアード博士の招聘 全国自治講演会
- 6) 震災復興院 40 億円計画⇒挫折 復興院の解体
- 7) 首都を東京に定着

3 思想と現実

- 1) 構想と現実のズレ 理想先行 根回し不足
- 2) 中央政府への期待 原首相 予算
- 3) 地権者の反対 金子謙太郎
- 4) 市長の立場 議会との関係

4 後藤新平の評価——挫折の中の光芒

- 1) 先見的理想主義——近代都市への展望
- 2) 自治の精神——市民の力
- 3) 庶民性・大衆性——分かりやすさ、明快さ
- 4) 科学性の尊重——科学としての都市政策
- 5) 体制の整備

150 回予定

2009. 12. 01

田村 明

51 東京奠都・桑茶政策	08/02
52 中央集権体制の確立——廃藩置県・戸籍法	08/03
53 銀座煉瓦街計画	08/04
54 中央官庁街計画	08/06
55 東京市区改正条例	08/07
56 市制・町村制と大都市特例	08/09
57 土地制度改革	08/10
58 都市公園の誕生	08/11
59 工業化と公害、スラムの発生	09/03
60 森鷗外、夏目漱石、幸田露伴、永井荷風	09/04
61 内務省と田園都市	09/05
62 都市の心臓作り	09/06
63 都市計画法・市街地建築物法の成立	09/07
64 後藤新平の構想	09/09
65 関一の都市思想	09/10
66 都市内交通	
67 関東大震災と復興	09/11
68 都市美協会・都市美運動	09/12
69 山手線と東京の市街地形成	09/11
70 近郊鉄道と郊外地開発	09/12
71 盛り場の形成	10/02
72 地下鉄	10/02
71 ターミナルの誕生（鉄道型都市）	10/03
72 都市災害（開発災害）と神戸	10/04
73 大都市問題	10/05
74 大東京市の成立と都市規模拡大	10/06
75 東京都制——自治権の制約	10/07
76 防空思想と都市	10/09

VI 第二次大戦後の都市課題への挑戦

- 77 イギリス・大ロンドン計画
- 78 ブキャナンレポート

- 78 イギリス・ニュータウン政策
- 79 アメリカのフェデラルブルドーザーとジュージェイコブス
- 80 ソ連の都市建設
- 81 日本の首都および首都圏計画
- 82 日本の全国総合開発計画
- 83 TVA、南イタリア開発
- 84 日本列島改造計画
- 85 首都建設、首都移転（キャンベラ、ブラジリア、東京）
- 86 ブラジリアの実験
- 87 日本のニュータウン政策
- 88 ドイツの戦後計画 アデナウアー
- 89 ポーランドの都市復興
- 90 北欧のニュータウン
- 91 パリのデファンス
- 92 ブラジルのクリチバ

VII 現代都市変動の原点

- 93 人間の欲望と限界 利益、権力、名誉：安定、安心、平安、充足感
- 欲望のコントロールは可能か 市民とシクミ
- 93/4 人間の成長と欲望
- 95 都市の時代の「市民」とは
- 96 欲望達成・調和のシクミとシステム 権力、資本、自由度、合理性
- 97 個人的利益の限界 物的満足・精神的満足 資源の限度 争いの原因
- 98 民主主義の意味と課題 勝者優位の緩和

VIII 都市に住むこと

- 99 近代都市から現代都市へ 現代都市問題の本質はなにか
- 100 都市矛盾の顕在化 欲望と資源の限界 自由と規制
- 101 都市政策の必然性と必要性
- 102 都市政策の主体 君主主義、官僚主義、民主主義
- 103 政策目標とヴィジョン
- 104 人生サイクル——出産、子供、学業、仕事、NGO、老人
- 105 集まって住む住み方——相違を認める——都市コミュニティ
- 106 最小単位としての暖かい家庭 母親力
- 107 住まいとシゴトの分離
- 108 住民は市民になれるか 市民の条件

- 109 人間交流の場
- 110 広場、商業、催し、賑わい
- 111 異質の人間を交流させ繋ぎ止めるキイ
- 112 都市と安全
- 113 都市と遊び
- 114 都市と水 都市と河川
- 115 都市と食料
- 116 都市農業の可能性
- 117 都市と農村
- 118 都市とエネルギー
- 119 都市と緑 オープンスペース
- 120 自然 自然保護 生物多様性
- 121 都市とアート
- 122 シンボル 市民の連帯、誇り

VII 都市の政策対応システム

- 123 「中央集権」⇒「地方分権」⇒「地域主権」
- 124 広域自治体と基礎自治体
- 125 完全自治≪道州≫制
- 126 グローバル化とローカル化 国と自治体の関係
- 127 地域経営の必要性
- 128 「市民の政府」への期待と特色
- 129 「市民の政府」の運営 財政と負担
- 130 基本条例⇒都市自治憲章
- 131 「市民の政府」の首長、議員
- 132 「市民の政府」とNPO
- 133 総合調整機能・自治体組織・
- 134 「市民の政府」と官僚制と官僚制

IX 政策課題の論点

- 135 世界政府と人間
- 136 無防備都市
- 137 土地総有論
- 138 基本土地政策 利用と利益

- 139 集中か分散か 都市の境界
- 140 クルマ社会の行く末 高速道路
- 141 高層建築と低層建築
- 142 水際線と市民 自然、物流、交流
- 143 ミナトと都市
- 144 空港
- 145 都市の地下利用
- 146 バーチャル化と都市
- 147 情報のネット化と人間交流
- 148 都市景観
- 149 LRTと歩行者
- 149 歴史的遺産
- 150 テーマパーク
- 151 イベントと都市
- 152 アーバンデザイン
- 153 アートと文化
- 154 祭とイベント
- 155 「まちづくり」の未来
- 156 都市と宗教
- 157 都市のマイナス（犯罪、薬物、非行、薬害、テロ）
- 158 都市の暮らし
- 159 弱者保護
- 160 太陽と人間生活

IX 都市は人間を持続的に幸せにできるか

- 161 弱い都市、危険な都市、複雑な都市、魅力的な都市
- 162 崩壊する都市：建設する都市：変動する都市
- 163 平和の条件としての都市 リスクと保全
- 164 都市はどうなるか？どうするか？
- 165 人類文明の選択肢